

平成26年度 長伏小学校区 第2回きずなづくりトークまとめ ～仮称：地域コミュニティ連絡会～

10月28日(火)に開催された「長伏小学校区第2回きずなづくりトーク～仮称：地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。
(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)



ご参加ありがとうございました。

【当日参加団体一覧】

団体名		
松本町内会	長伏老人クラブ	長伏小学校 PTA
長伏町内会	消防団第18分団	中郷西中学校
御園町内会	松本幼稚園	中郷西中学校 PTA
スポーツ推進委員	松本幼稚園 PTA	中郷地区地域包括支援センター
体育振興会	長伏小学校	

※当日参加者 20 名



会場アンケート：「テーマ別会議」「協議会設立」について、参加者の意向を伺いました。

【会場アンケート結果】

テーマ別会議	
①防災訓練で中学生が活躍できるプログラムを企画してみよう！	10人
②消防団員を増やすため、地域でできることを考えよう！	4人
③子ども達を犯罪から守るにはどうしたらいいのか考えよう！	6人
④その他	0人

※テーマ①&②と、③の2グループに分かれ話し合いました。(別紙「テーマ別会議まとめ」参照)

協議会設立の意向	
①議会に向けた取組みを進めたい	5人
②連絡会を継続したい	12人
③その他	2人

テーマ①「防災訓練で中学生が活躍できるプログラムを企画してみよう!」&②「消防団員を増やすため、地域でできることを考えよう!」

●中学生と同時に消防団も活躍できる防災訓練のプログラムについて、皆さんの意見を出し合いました。

(テーマ①&②班：参加人数 14人)

子どものうちに興味のある様々な体験を積み、「消防団になりたい!」という意識が芽生えていく。

★学校では出来ない訓練(体験型)をやってみよう!



【地域の防災訓練の現状】

- ・中学生約 7 割参加
- ・来年度以降、避難所訓練実施に向け現在調整中。
- ・学校での訓練は『逃げる』訓練
- ↳ 地域での訓練は『積極的な』訓練(消火など)

中学生が活躍し、かつ、消防団がヒーローになれる訓練を目指そう!!



【消防団の現状】

- ・勧誘に行っても、本人ではなく親御さんから断られるケースが多い。
- ⇒親の意識を変えさせることも必要!!
- ⇒消防団になって良かったと思う事例を整理し勧誘に使う。

★中学生自身の考えを聞きたい!!

- ・中学生自身が何をしたいのか聞きたい。
- ・「何が必要か」「自分達は何ができるか？」を中学生自身に考えてほしい。
- ・中学生の立場で何ができるのか、話し合ってもらいたい。

中学生がやりたい事は、「サイレンを鳴らした消防車に乗る」と「放水」。三角巾や AED はつまらないとの意見あり。

消防団から学校を通じ、中学生へアンケートを実施したらどうか? 

■消火・ポンプの扱い

- ・消火。放水訓練(筒先を担う)
- ・簡単なポンプ捜査(ホースを投げたり、つなげたり等)
- ・中学生対抗ポンプ操法大会
- ・中学生の男子が興味湧くのは、エンジンと放水である。
- ・軽可搬ポンプなら、中学生でも操作可能ではないか?(但し台数が少ない)
- ⇒消火は「どんど焼き」でも実践できる。

■指導役にまわる

- ・訓練指導員(消防団のアドバイスで)
- ・中学生が指導者になり住民に指導、中学生にまかせてやる。

■その他

- ・炊き出し訓練
- ・小学生を連れて避難させる。
- ・担架作り、運搬作業

■消防団と一緒に

- ・パトロールに同行する。
- ・サイレンを鳴らした消防車に乗り走る。
- ・かんたんな規律(集団行動、回れ右等)
- ・消防団と同じ様なチームを作る。
- ・消防団の練習を見学する。
- ・中継訓練への参加

■お年寄りの介助

- ・町内パトロール、声かけしながら、要支援者の助け
- ・高齢者と接する機会を作る。
- ・認知症について学ぶ

■リアルな体験

- ・予想される被害を体験できる場所に連れていく。(県の防災センターなど)
- ⇒リアルな体験から、実際に何が必要か考えることができる。
- ⇒学校、消防団では経済的に実行不可能。

「誰が」「いつ」「どこで」実行するのか? 経済的な問題解決も含め、実現に向けて考えていかななくてはならない!

テーマ③「子どもたちを犯罪から守るにはどうしたらいいか考えよう！」

(テーマ③班：参加人数 6人)

●子どもを狙う犯罪を「目に見えない犯罪(SNSなど)」「目に見える犯罪(連れ去りなど)」に分け、それぞれ地域でどういった対策ができるか、皆で話し合いました。

